

## スキンケア用途に適した新規タデ藍エキス 弘前大学とサンスター株式会社が共同開発

2013年4月22日  
国立大学法人弘前大学  
サンスター株式会社

国立大学法人弘前大学（青森県弘前市、以下：弘前大学）とサンスター株式会社（本社：大阪府高槻市、代表取締役社長 吉岡貴司、以下：サンスター）は、2007年8月に締結した「研究連携の推進に係る協定」に基づき、2009年6月よりタデ藍の抗真菌活性に着目した共同研究に取り組み、このたび、新規タデ藍エキスを開発、スキンケア用途での有用性を使用試験により確認しました。

○タデ藍抽出物「トリプタンスリン」に抗真菌活性

○新規タデ藍エキスの開発

○新規タデ藍エキスの有用性確認

### 研究の背景

タデ藍（*Polygonum tinctorium*（ポリゴナムテンクトリウム））は、日本における藍染め染料の原料植物としてよく知られていますが、古くから様々な薬効が言い伝えられた民間伝承薬としても用いられました。近年、弘前大学教育学部北原晴男教授を中心とし、染色以外の可能性として、抗真菌性に注目した研究が始まりました。北原晴男教授らは、タデ藍から高い抗真菌性を示す物質「トリプタンスリン」を単離し、これらの研究成果を基に、タデ藍の持つ抗真菌活性を応用した外用剤等の開発を目指して、弘前大学とサンスター株式会社は共同研究を実施しました。



<タデ藍の畑>



<タデ藍>



<新規タデ藍エキス>